


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2016年05月19日	アンゴラへの旅行者に対する黄熱ワクチン接種の注意喚起 (WHO)
東アジア	2016年05月18日	鳥インフルエンザ A (H7N9) の発生状況 (更新7) ★
—	2016年05月17日	中東呼吸器症候群コロナウイルス (MERS-CoV) の発生 (更新16)
—	2016年05月16日	ジカウイルス感染症の発生状況 (更新14)

★【2016年05月18日更新】鳥インフルエンザ A (H7N9) の発生状況 (更新7)

2016年5月17日付けで公表された世界保健機関 (WHO) の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会 (NHFP) は、2016年5月10日に、新たに死亡者4人を含む鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルス感染者11人が検査で確認されたことを WHO に報告しました。

(中略)

● WHO からのアドバイス

WHO は、鳥インフルエンザの発生が確認されている国への渡航者に対し、養鶏場への立ち入り、生きた家禽類をさばく市場での動物との接触、家禽を解体する場所への立ち入り、家禽や動物の排泄物で汚染されているとみられるあらゆる物品との接触を避けることを勧めています。渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣の維持に努めるべきです。

WHO は、この事象に関連して、特別な入国スクリーニングおよび渡航や貿易の制限を行うことを推奨してはしません。鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航中又は帰国した直後に、渡航者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザウイルスへの感染を鑑別診断として考えておくべきです。

WHO は、国際保健規則 (2005) に基づき、重症急性呼吸器感染症 (SARI) のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続し、慎重に通常と異なる傾向がみられた症例については検討を重ねることを各国に促しています。さらに、国民の健康に備える活動を続けていくことを求めています。

中国に滞在される方は、今後も情報に注意していただくとともに、手洗いや咳エチケットをこころがけてください。また、鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしてください。入国の際に、発熱、咳、喉の痛みなどの症状がある場合には検疫所に相談してください。